

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆にたくさん揚げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する時間
1	1	理念について職員と話し合いや振り返りの時間を持っておらず共通意識が図れていない。	管理者含め全職員と話し合いの場を設け、当該グループホームが掲げる理念について再構築し、理念の共有を図る	全体会議の議題項目に掲げ話し合う場を設ける。理念の再構築が必要な場合は検討を重ねる。	1～3ヵ月
2	7	虐待防止の防止の徹底について発見時のフローチャートがわかりにくい。	虐待防止の徹底を図るため、発見時のフローチャートを利用者、その家族、職員誰が見ても解りやすく表示する。	虐待防止委員会にて管理者、他職員の意見を鑑みながらフローチャートを作成し、閲覧できる場所に表示する。	3ヵ月
3	35	災害対策について火災想定訓練は行っているが、他災害の対策について訓練できていない。	火災に限らず、水害、地震等の災害を想定した訓練を行い、有事に備えることができる。	水害・地震を想定した訓練を取り入れる。防災委員会による備品の整備を行う。	12ヵ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo. を記入してください。項目数が足りない場合には、行を追加してください。